

# 社会福祉法人らっく

長期計画（2019年 2028年）

中期計画（2019年 2023年）

## 2019年度 - 2028年度 長期計画 - 次の10年に向けて

社会福祉法人らっくは、2018年度に法人設立(2008年10月7日)から10周年の節目を迎えました。延べ利用者数も本年度で10万人を超えました。

今後も、より多くの地域の障害ある方に、仕事、住まいなど生活の基幹にかかわるサービスを提供し続けることにより、誰もがより豊かに暮らせる社会を目指し、地域の発展に寄与します。この計画は、10年後に目指す水準を具体的にイメージすることで、当法人が今後進むべき道筋を明らかにすることを目的としています。

### < 社会福祉法人らっくが次の10年の間で目指す水準 >

延べ利用者数	20万人 (年平均 2万人)
一般企業等への延べ就労者数	250人 (年平均 25人)
工賃水準	492円/時給
入院患者等の地域移行支援 退院者数	100人 (年平均10人)

## 2019年度 - 2023年度 (5か年) 中期計画

### 1 経営環境

相模原市「共にささえあい生きる社会さがみはら障害者プラン」において、2017年3月31日現在の精神障害者( )の数は12,781人であり、2023年には16,856人(4075人約31.9%の増加)になると推計されています。

年度	精神障害者( )の数
2017年	12,781人
2023年	16,856人(推計)

精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療受給者証〔精神通院医療〕のいずれか又は両方の交付を受けている者

また、相模原市の見込みによれば、2020年度までの主要サービス支給量見込みと現状における当法人のサービス提供可能量(就労移行、就労継続Bについては定員に、日数と適正な利用を想定して一定の係数0.8を乗じて算出。共同生活援助については定員数)は以下のとおりです。

#### (1) 就労移行支援

2016年度 支給量	3,446
2020年度 支給量	4,774 (見込み、約38.5%増)
当法人サービス提供量	433

単位：人日/月

「月間の利用人員」×「一人一月当たりの平均利用日数」で算出されるサービス量（例えば 20 人が平均して 15 日利用すると、サービス量は 300 人日/月）

### （２）就労継続支援（Ｂ型）

2016年度 支給量	15,963
2020年度 支給量	16,923（見込み、約6.0%増）
当法人サービス提供量	667

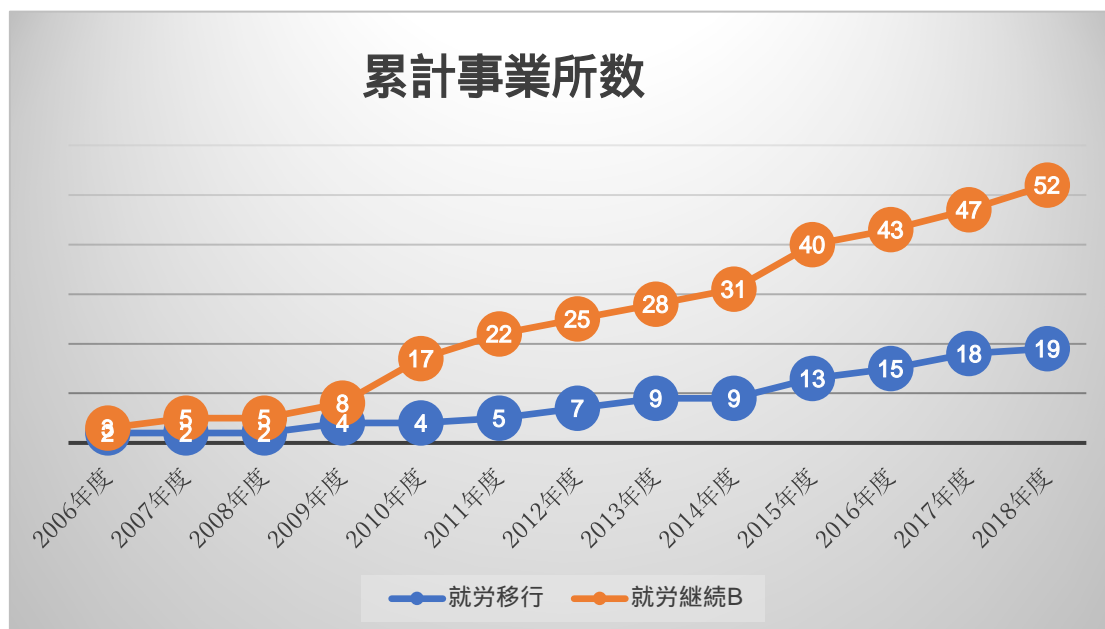
### （３）共同生活援助

2016年度 支給量	636
2020年度 支給量	860
当法人サービス提供量	18

単位：人/月

### （４）市内事業所数

相模原市内の精神障害を主たる対象者とする就労移行支援事業所、就労継続支援（Ｂ型）事業所の数はあみ開所年度の2009年において就労移行支援事業所は4、就労継続支援（Ｂ型）事業所は8でしたが、2018年度には就労移行支援事業所は19、就労継続支援（Ｂ型）事業所は52に増加し、今後も事業所数は増加するものと考えられます。



## 2 展望

上記のとおり、サービス利用対象者、提供量の増加とともに、事業者数も今後とも増加し

ていくと考えられます。障害ある方にとっては、事業所の増加により選択肢の多様化で自身のニーズ即したサービスが受けられるようになるなどの利便性が増す一方で、私たち支援機関にとっては多数のサービス提供者の中から選ばれるために、ご利用者 1 人ひとりのニーズに寄り添ったサービスの提供と、サービス品質の維持向上のため不断の努力が求められます。

選ばれる施設になるために、支援の質の維持・向上はもちろん、ご利用者の課題達成について成果を上げ、その成果から得られた経験や知識を絶えず、広く発信していくことが重要と考えます。また、持続的なサービス提供のために運営基盤の強化に取り組みます。

### 3 目標と施策

(1) 持続的なサービス提供のために法人の運営基盤を強化します。施設老朽化への備えとともに、業務効率化による職員負担の軽減とライフ・ワークバランスの改善を実現します。

#### < 2023 年度目標 >

職員年次有給休暇取得日数の向上			
2017 年度一人あたり年次有給休暇取得日数平均	7.57 日	10 日以上	
残業・休日出勤時間の圧縮			
2017 年度一人あたり残業時間数	13.11 時間	10 時間以内	
あみ大規模修繕 完了			

#### < 施策 >

適正な人員配置による労務環境の改善  
 業務、支援の ICT 化推進による効率化  
 あみの大規模修繕の実施

(2) 地域で選ばれるサービスを提供するために、サービスの質を向上します。

#### < 2023 年度目標 >

利用率	2017 年度	81%	90%
年間就労者数	2017 年度	22 名	年間平均 25 名
延べ就労者数	2017 年度	148 名	300 名
工賃時給	2017 年度	196 円	350 円
工賃支給例	1 日 5.5 時間、週 5 日勤務、通所率 90% の利用者の 1 月あたり工賃		
	2017 年度	19,404 円	34,650 円
年間延べ利用者数	2017 年度	15,798 名	17,500 名

< 施策 >

支援の見える化による充実と標準化

職員教育の充実、スキルアップ

外部受託の拡大、販売機会の積極的な確保

地域資源の活用、地域交流、地域への還元を事業活動へ積極的に取り込み

利用者満足度調査の定期的な実施

( 3 ) より多くの方へサービスを提供できるよう施設増設を計画的に推進します。

< 施策 >

施設増設等の増設に向けた資金積立計画の策定

通所施設、グループホームの増設準備(利用率、入居率を勘案しながら別途計画を策定します)

( 4 ) 積極的な情報発信

< 施策 >

活動の成果等をホームページで発信します。より多くの方にアクセスしてもらえよう、外部媒体への露出や SNS の活用などでホームページへのアクセス数を増やします。

日本精神リハビリテーション学会に活動の成果を報告します。

より多くの見学者の受入れに向け関係機関や地域と連携します。